

新入生代表の誓いの言葉 全文

誓いの言葉

春の花々が咲き、野山の草木も一斉に芽吹き始めた。今日のこの良き日、わたしたち新入生121名は、入学への期待と希望で胸を膨らませ、誇らしい気持ちで神戸大学の正門をくぐり、ここ六甲台講堂に集まりました。本日は、わたしたち10回生のために、このような盛大な入学式を催していただき、ありがとうございます。また、校長先生はじめ、諸先生方、並びにご来賓の皆様、先ほどはわたしたちに、あたたかい励ましのお言葉をいただき、心より御礼申し上げます。

わたしたち新入生は、入学前の課題として、吉野源三郎さんの著書、「君たちはどう生きるか」の読書感想文が与えられていました。

わたしたちはこれからどう生きるべきか、という同じ問題にそれぞれ向き合い、自問自答し、今日を迎えました。

わたしたちは日本国内にいても、今立っている場所がすでにすでに国境を越えて、世界とつながっているという時代を生きています。

わたしたちは、今日からはじまる中等教育学校生活で、学習や部活動、生徒会、「KOBEプロジェクト」、行事などすべてのことに全力で取り組み、仲間と切磋琢磨することで、世界で活躍できるような力を身に着けたいと考えています。

わたしは小学校6年生の時、東日本大震災の被災地を含む東北への宿泊活動で、被災地の復興の様々な問題と、そこに暮らす方々の優しさや力強さにふれました。帰ってきたわたしたちは宿泊活動を振り返る中で、自分たちでできることがないか考えました。そこで「被災地のことを伝え、減災について多くの人に伝える」ということを自分たちで計画し、語り部として伝える活動を行いました。

しかし、わたしはこの活動に終わりはないと考えています。

わたしたちがそれぞれ、新しい仲間と成長することでこれからもっと違った発信の仕方につながっていくと考えているからです。

これからわたしたちがどう生きるか。どう生きるべきなのか。

それは、それぞれ自由に違った答えだと思います。

わたしたちは語り部の活動の時のように、わたしたちの自由に違った答えのすべてが正解だと考え、互いに尊重し合い、それを自律的に行動に移し、新しい価値観を創造していこうと思います。

自分の役割を果たすことはもちろん、自分の役割を超えてみんなのために自分から行動する。仲間たちとともに、失敗を恐れず、さまざまなことに挑戦し、今日の自分を力強く超えていきましょう。

わたしたち新入生は神戸大学中等教育学校10回生であることを誇りとし、今日からの6年間で仲間とともに友情を深め、助け合い、それぞれの未来のために学び高め合っていくことをここに誓います。

最後に、ここにおいでの方のすべての先生方や上級生のみなさん、家族の皆様、まだまだ未熟なわたしたちですが、教指導いてくださるようご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

神戸大学附属中等教育学校 10回生代表